

編集後記

- 『紀要』三十五号をお届けいたします。
- 安中尚史所員の巻頭論文は、近代日蓮宗における海外布教を植民地布教と移民布教に二分し、朝鮮における植民地布教の展開と、ハワイ・北米ロサンゼルスにおける移民布教の展開を検討し比較したものです。
- 研究生諸氏の一年間の研究成果の一部を掲載しました。読者諸兄の御批正を賜りますようお願いいたします。
- 二十一号より日蓮聖人・日蓮教団史研究雑誌論集目録を掲載しておりますが、本号では平成十九年に発表された論文を収録いたしました。お気付きの点がありましたら研究所まで御一報くださいますようお願いいたします。
- 本号の史料紹介は、立正大学情報メディアセンター所蔵の『祖書編輯考』全一卷（平楽寺村上勘兵衛版）です。紀州感応寺十八世、中村檀林一九九代化主、鶏冠井檀林一六〇代文能を務めた勇猛院日慶は、本書において「編年体御書目録」等を用い、行学院日朝、弘経寺日健、一如院日重、本行院日奥ら先学の説を統合し、六老僧による『録内御書』一周忌成立説、『録外御書』三回忌成立説に対し、それぞれ十項目をもって否定します。日慶が本書において先師の諸遺文に対する意見を整理統合し、かつ自身でも多くの見解を提示したことにより、日蓮聖人遺文の書誌学的考察・文献学的研究は飛躍的に進み、後の日蓮教学・教団史上に大きな影響を与えました。
- 本号の紙面を借りて、日蓮教学研究所の規程、および『日蓮教学研究所紀要』編集規程を掲示させて頂きました。ご照覧ください。
- 新時代に即応し、三十一号より、紀要の電子化の事業に参加しております。ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。
- 計報 平成十九年三月十六日、当研究所客員所員妹尾啓司先生が御遷化されました。謹んで増円妙道をお祈り申し上げます。四月十一日、当研究所研究員久住謙是先生が御遷化されました。謹んで増円妙道をお祈り申し上げます。

執筆者

安中尚史	（日蓮教学研究所所員）	宗費研究生
奥野本勇	（同）	宗費研究生
高野聡	（同）	宗費研究生
武田悟一	（同）	宗費研究生
山崎美由紀	（同）	研究生
林是恭	（同）	宗費研究生
古河良啓	（同）	宗費研究生
本間俊文	（同）	宗費研究生
宮川朋子	（同）	研究生
中村宣悠	（同）	研究生
穂坂悠子	（同）	研究生
高橋貫道	（同）	研究生
木村中一	（同）	研究員

平成二十年三月一日 印刷
平成二十年三月十日 発行

非売品

編集兼 発行人 小松邦彰

東京都品川区大崎四―二―十六

発行所 立正大学日蓮教学研究

東京都品川区大崎四―一―十三

印刷所 株式会社 プリカ